

令和元年度第1回交野市図書館協議会 議事録

1. 日 時： 令和元年6月4日（火）午後3時～4時30分
2. 場 所： 倉治図書館2階 視聴覚室
3. 出席者：
 - (1) 委員 木下会長、中嶋副会長、青木委員、有山委員、石倉委員、大湾委員、川村委員、木村委員、竹田委員、向井委員、盛田委員、山岡委員、山本委員
(欠席： 今堀委員、岸本委員)
 - (2) 事務局 北田教育長、平井図書館長、川村課長、福田課長代理、原田係長
 - (3) 傍聴者 なし
4. 概 要：
 - (1) 開会
 - (2) 辞令書交付
 - (3) 教育長挨拶
 - (4) 委員・事務局紹介
 - (5) 委員出席状況報告
 - (6) 役員改選： 互選により木下会長・中嶋副会長を選出
 - (7) 平成30年度事業報告について
事務局から資料に基づき説明

質疑応答

会 長： 昨年度事業報告について説明があったが、これについて意見等があれば自由に発言をお願いしたい。

貸出冊数が伸びているということ、全国的に伸び悩む公共図書館が多い中、珍しい。努力の表れかと思う。館内を見学したが、報告にあった準新刊コーナー、YAコーナー（特集）等、工夫が随所に見られた。

副会長： 文庫の新刊購入やリクエストへの対応等、ありがたく思っている。

文庫連絡会として小学校へおはなしをしに行くが、学びあいサポーターの全校配置により、おはなしを聞いた子がすぐに本を手にとれる環境が整っていることがすばらしい。後の子ども読書活動推進計画進捗状況のところでも話があるかと思うが、学校・地域・図書館の連携のたまものだと思う。

委員： 録音図書を作成しているが、その後の利用状況等がわからない。

事務局： 利用した方からの紹介で借りに来る方もいるなど、少しずつ利用が広がっている。

会長： 録音図書の作成について補足すると、著作権法改正により許諾申請のハードルが下がった。視覚障がい者にとどまらず、「読むこと」に困難のある方に提供できるようになった。利用促進に向けてPRに努めてもらいたい。サピエのダウンロードサービスも利用しているのか？

事務局： ダウンロードは利用していないが、録音図書の検索、取り寄せにサピエ図書館を利用している。

(8) 令和元年度事業計画について 事務局から資料に基づき説明

質疑応答

会長： 今年度事業計画について質問・意見等はないか。

副会長： 星田会館図書室の基本的なコンセプトとして「子育て支援：児童コーナーの確保」とあるのは、対象を乳幼児に限るということか。小中学生の利用については、どのように考えているのか。ターゲットをどこに置いた図書室整備を目指すのか。

事務局： 特に何かに特化したものではなく、乳幼児から高齢者まで、幅広い世代にご利用いただける図書室としたい。

蔵書についても現星田コミュニティーセンター図書室資料に加え、これまではスペースの都合上、所蔵がなかったレファレ

ンスツール（事典・図鑑類）も含め、あらゆるジャンルの収集に努め、広く地域の皆さんにご活用いただけるような図書室を目指したい。

会 長： 蔵書数が2万冊から2万5千冊に増冊とあるが、資料購入費は通常予算の中での割り振りか、別予算が充てられるのか。

事務局： 現星田コミュニティーセンター図書室資料に加え、移設に伴う臨時予算より新規購入するものを含めた2万5千冊を予定している。

(9) 第2・3次交野市子ども読書活動推進計画進捗状況について

事務局から資料に基づき説明

質疑応答

会 長： 前年度と比較して評価が下がったのが3項目。それ以外は上がった、若しくは前年度同様ということだが、これに対して質問・意見はないか。

事業報告（11頁）にあった「大活字図書コーナーの充実」と、進捗状況表（6頁）の「点字絵本や大活字図書などの資料整備」は連動していないのか。

事務局： 事業報告での「大活字図書コーナー」は一般書に限っての充実。児童向けの大活字図書については新規購入できていない。

会 長： 学びあいサポーターという名称で学校司書が全校配置されているということだが、実際の学校現場で変化はあるか。

委 員： 以前は教員が授業に使う資料収集も行っていたが、学びあいサポーターの配置により、選書等の面で大変助かっている。児童にとっても教員にとっても、本が身近になったように思う。

会 長： 司書配置の有無で雲泥の差が出てくる。子どもにとって望ましい読書環境を整えるには、整備だけでなく人の配置が重要である。今後は更に、兼任ではなく、専任での配置を希望する。

委 員： 「よみきかせサポーター制度」が、受講生の実際の活動に繋がっているのが素晴らしい。

委 員： 会議で青年の家を利用することが多いが、会議中、連れてきた子どもが図書室で本を読んで待っているという姿も見受けられる。図書館の存在はありがたい。

会 長： 今年度は5年計画の総括の年。取組みの充実を期待する。

(10) 交野市立図書館運営方針の策定について

館長から会長へ諮問

事務局から策定の目的、スケジュール及び図書館（室）アンケート調査票（案）について説明

質疑応答

会 長： 運営方針策定について、スケジュール等説明があった。アンケートについても何か意見があればお願いしたい。

来館アンケートではないということで、「利用されていない方をいかに呼び込むか」を探ることが目的になるかと思う。

アンケートの性別を問う設問については「男・女・その他」となっていた選択肢を「男・女・性別を答えることに抵抗を感じる」に変更するよう助言させてもらった。LGBTの方への配慮であり、そういう配慮をしているという市民へのアピールにもなる。また、年齢を問う設問では選択肢が「70歳代」までになっていたが、昨今のアクティブシニアの増加を踏まえ、「80歳代」の追加を提案した。

委 員： 図書館への来館アンケートではないということだが、どのような手法で行うのか。

事務局： 市民課の協力を得て、無作為に13歳以上の市民1000人を抽出、郵送にてアンケート送付し、返送いただく予定。

会 長： 事業報告によると、30年度図書館実利用者数は12.8%ということで、全国平均10～15%に比べて決して低いわけではないが、今後の図書館のあり方を考えるに当たり、特定の市民（12.8%の市利用者）にだけ意見を聞くのではなく、広く意見を問うということかと思う。

副会長： 無作為の1000人の中に図書館利用者がどれぐらい存在するのか、「よい図書館を」と願う人の思いがアンケートでわかるのか、疑問に思う。

事務局： 利用者の思いについては、過去のアンケート等で一定把握できているが、利用されていない方の思いはなかなか把握できない。そこを掘り起こすためのアンケートだと捉えていただきたい。

会 長： 利用者アンケートの結果も踏まえつつ、利用されていない方の意見もということ。実利用者数12.8%だと、1000人中120～130人は利用者だという計算になる。

事務局： 利用されていない方をいかに呼び込むかが目的ということでご理解いただきたい。統計上、1000人に送付して300～400程度の返信が予想され、それでおおよそのニーズが見えてくると考えている。

会長： 単純集計だけでなく、クロス集計等を取っていただくことによって、そこから見えてくることもあるかと思う。楽しみにしたい。

まだ案の段階ということなので、内容について何かあれば。

委員： 突然郵送されてくるのか。広報等で事前にお知らせはするの
か。

事務局： 7月号広報にお知らせを掲載する予定。同時に区長会でも説明をし、住民から問い合わせがあれば対応いただくよう、依頼
予定。

委員： 設問の順番だが、いきなり性別の問いから始まるが、アンケート調査の目的から考えて、回答者自身のことを問う設問は最後に持ってくるのも一つの方法かと。まずは「あなたはどんな人ですか」という簡単な設問からということかと思うが、抵抗を感じる人もいる可能性を考えると、「図書館を利用したことがありますか」から始めても良いかと思う。

会長： 個人的なことを聞かれることに抵抗を感じる人もいるかと思う。市の他部局のアンケートではどうか。やはり性別からが一般的か。

委員： やはり個人的な質問から始まるものが多いかと思う。

委員： 性別は必要なのか。答えることに抵抗を感じる人もいる中で「抵抗を感じる」という選択肢を設けてまで問う必要があるのか。

会長： 敢えて聞かないというのは違うのではないか。配慮しつつ問うことでLGBTへの配慮について考えるきっかけになるかと思う。

個人的な設問をどこに持ってくるかは、事務局に任せてもよいか。市で行う他のアンケートとの整合性も踏まえて、検討願
いたい。

委員： 「どのようになれば図書館（室）を利用したいと思うか」との設問で、「開館時間延長」「開館日数増加」等の選択肢があるが、そもそも利用したことがなく、現状のサービスがわからなければ、答えようがないのではないか。自身も利用したことが

なく、開館時間等、現在の運営状況がわからない。

会 長： 現状についての説明が必要ではないかとの意見だが。

事務局： 追加を検討する。

委 員： 無作為抽出で目の不自由な方にアンケートが届くことについては考えているか。

事務局： そこまでは把握できない。そこは致し方ないと考えている。

会 長： 無作為なので仕方がない。家族等の代読ということになるかと思う。回答が困難な人も存在するということが、アンケートの回答率が100%にはならない理由の一つかもしれない。

委 員： 依頼文に、回答に関しての問合せ先についての文言を添えてはどうか。

事務局： 依頼文には、問い合わせ先についても明記する。回答が困難である場合は、その旨を回答いただくのでも構わないと考えている。

会 長： ほかに何かないか。7月に実施ということで、それまでにまた何かあれば直接事務局へお願いしたい。

以上で本日次第として用意していた案件は終了だが、案件以外で他に何かあるか。なければ以上をもって、令和元年度第1回交野市図書館協議会を終了したい。

(11) 館長挨拶

(12) 閉会

以上